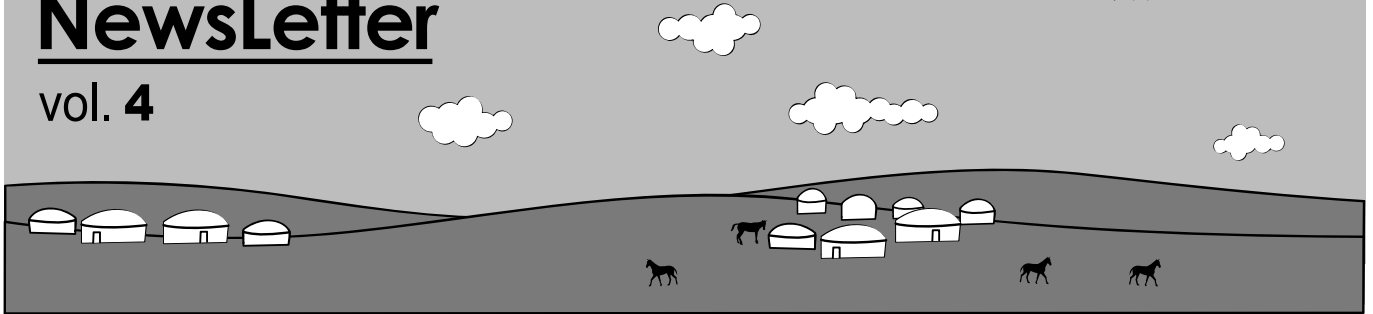


NewsLetter

vol. 4

設立一周年記念イベント「五味太郎さんと一緒に」●
シェルター「丘のいえ」だより●
パオのWEBサイト開設のお知らせ●



子どもセンター「パオ」設立一周年記念イベント **五味太郎**さんと一緒に

2007年7月7日

7月7日の七夕の日、子どもセンター「パオ」設立一周年イベントが名古屋市中区の中区役所ホールで開かれました。当日は250人以上の皆さんにご来場いただきました。

ご参加いただいた皆さんに心からお礼申し上げます。

「五味太郎さんと一緒に」というサブタイトルがついた同イベントには、絵本作家の五味太郎さんが、パオのために名古屋にやってきました。また、五味さんが全国で唯一自作の読み聞かせを公認している、ブックドクターのあきひろさんも百冊以上の五味さんの絵本を持って駆けつけてくださいました。

イベント第一部では、パオのメンバーにより、「パオの活動報告」を紹介させていただき、会場の皆さんは大変熱心に耳を傾けてくださいました。また、「先輩格」のカリヨン子どもセンターが運営する自立支援施設「とびらの家」施設長、細野直人さんには、シェルターの必要性和現状についてお話いただきました。(詳細は次ページ)

第二部は、ブックドクターあきひろさんの絵本の朗読からはじまりました。あきひろさんは五味さんの絵本「むかしのこども」を、関西弁バージョンで朗読してくださり、ユーモアのある語り口に、何度も会場から笑い声が起こっていました。

五味太郎さんの講演(詳細は次ページ)は、子どもたちへの温かいエールと、わたしたち大人への、厳しい提案とも言える内容で、五味さんの強い思いを会場全体で感じました。

パオのメンバーで今年のイベントに出演いただいた矢野きよ実さんも急遽駆けつけてくださり「子どもたちの問題は簡単にすぐ解決できる問題じゃないかもしれないけれど、私もいつも何ができるか考えています。必ず人と人は結ばれると思っています」と励ましの言葉をいただきました。

また、今回のイベントでは、会場の中から3名の方に、その場で五味さんが名前入りサインをしてくださる絵本抽選会も行われ、盛りだくさんの内容で幕をおろしました。

「法律はあくまで人間の作った枠組み。それさえ守ればすべてOKじゃないでしょ」「子どもはほっとくと駄目になる、という、あなた自身が駄目なんですよ」五味さんはお話の中で、私たちに突きつけます。

「子どもが悩んだり、たたずんだり、ちゅうちよしたり、素直に答えられないのは必ず理由があるから。それを待ってくれる人がいたら、子どもは生きられる」

五味さんの言葉は会場と私たちの胸に響きました。

(野村由美子)

.....詳細は2ページと3ページ

